

邦楽新世代作家たちの誕生

創 邦 21

第3回作品演奏会

平成14年6月25日(火) 午後6時30分開演 (午後6時開場)

日本橋劇場 (中央区日本橋公会堂4F) 営団半蔵門線「水天宮前」駅下車2分
中央区日本橋蛸屋町1-31-1 営団日比谷線「人形町」駅下車5分

入場料 全自由席3,500円 (前売り・当日共)

ご予約・お申し込み・お問い合わせ

創邦21演奏会事務局 TEL/FAX03-3300-7857

E-mail.bamboo.2@ezweb.ne.jp

主 催 創邦21 (そうほうにじゅういち)

助 成 (財)新日鐵文化財団

S O H O 2 1
T H E B I R T H O F N E O J - C L A S S I C
C R E A T O R S
P R O G R A M M E R S F O R P R E S E N T A T I O N S
O F N E W C O M P O S I T I O N S O F H O G A K U
N A T I O N A L M U S I C O F J A P A N

●プログラム

風神雷神

清姫

日高行

懐—なつかしむ—

雨の詩(うた)

乱風

キリエ

平成百鬼夜行—創邦21第二回合同創作作品—

●創邦21会員

今藤長龍郎

今藤政貴

今藤政太郎

今藤美治郎

杵屋巳吉

杵屋巳太郎

清元栄吉

常磐津兼太夫

常磐津文字兵衛

福原 徹

福原百七

松永忠一郎

米川裕枝

金子 泰 (文芸部)

塩田 律 (文芸部)

ごあいさつ

創邦21の演奏会も第3回目を迎えることとなりました。

今回のプログラムは、個人出品の7作品と合同創作の1作品、計8曲の構成でご案内いたします。素囃子、歌曲、器楽曲とバラエティーに富んだ個人出品の部では、作曲家各々の個性と志向が発揮されているばかりでなく、邦楽のさまざまな可能性を探るといった意味でも興味深く聞いていただけることと思います。また、創邦21として2作目となる合同創作曲では、いわゆる「現代邦楽」では見落とされがちな、邦楽の「歌曲」としての面白さを存分にアピールさせていただきま。ご来場のお客様方にはリラックスした気持ちで、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

歌詞も曲も演奏も、邦楽のすべての要素を大切にしたいと、私たち創邦21は考えています。どうぞご期待ください。

プログラム

1. 「風神雷神」 作曲：福原百七
2. 「清姫」 作詞：金子泰 作曲：清元栄吉
3. 「日高行」 作詞：金子泰 作曲：松永忠一郎 作調：藤倉呂英
4. 「懐～なつかしむ～」 作曲：今藤美治郎
5. 「雨の詩(うた)」 作曲：米川裕枝
6. 「乱風」 作曲：今藤長龍郎
7. 「キリエ」 作曲：福原徹
8. 創邦21 第2回合同創作曲
「平成百鬼夜行 ～へいせいひゃっきやこう～」
作詞(文芸部合同)：金子泰・塩田律
作曲：今藤政太郎・杵屋巳吉・杵屋巳太郎・常磐津兼太夫・常磐津文字兵衛

協演者 (50音順)

今藤長一郎 今藤政子 今藤美知央 岡崎敏優 杵屋栄八郎 杵屋秀子 藤倉呂英
中川敏裕 福原寛 松永忠次郎 松永和寿三郎 望月天津之 ほか

創邦21同人会員プロフィール



今藤長龍郎

1969年生まれ。父は今藤尚之。80年初舞台。85年今藤綾子より今藤長龍郎の名を許される。91年東京芸術大学音楽学部を卒業。以後、国立劇場、歌舞伎座、NHK、文化庁移動公演などに出演。父・今藤尚之の師の伯父・藤倉呂英生師、伯父・中川善雄師に師事。また荻江節郎も習得、荻江路平の名を許されている。



今藤政貴

1965年生まれ。父は今藤政太郎。四世藤倉呂船は祖父、藤倉呂子に母にあたる。68年3歳で初舞台。6歳より長唄囃子の手ほどきを受ける。81年叔母・今藤美知知に師事。92年武蔵大学大学院修士過程修了。同年、今藤政貴の名を許される。以後、国立劇場、歌舞伎座、NHK、紀尾井ホール公演などに出演。



今藤政太郎

1935年生まれ。父は四世藤倉呂船、母は藤倉呂子。16歳より十世芳村伊四郎師に師事。60年東京芸術大学音楽学部卒業。三世今藤長十郎師・綾子師に師事し、今藤政太郎を襲名。以降、演奏活動の他、映画音楽を含む作曲活動を展開、受賞多数。国立音楽大学、国立劇場養成課、NHK邦楽技能者育成会講師。



今藤美治郎

1960年生まれ。父は六世富士田新蔵、母は今藤文子。大祖父・三世今藤長十郎師、祖母・今藤綾子師に師事。82年今藤美治郎の名を許される。83年東京芸術大学音楽学部を卒業。以後、演奏会、舞踊会、歌舞伎、放送などに出演。97年より桐朋学園大学助手。また荻江節郎の名も許されている。



杵屋巳吉

1966年生まれ。幼少より三味線に親しみ、83年杵屋巳太郎師に入門。翌84年に杵屋巳吉の名を許され、同年第五回劇団音楽部に入部、歌舞伎の初舞台を踏む。専従者として出囃子、黒みずのキャリアを積み海外公演多数。2002年1月劇団立三味線に昇進。国立劇場養成課講師。



杵屋巳太郎

1937年生まれ。父・六世巳太郎、十四世杵屋六左衛門師に師事。のち三世今藤長十郎師・綾子師に師事。56年七代目家元杵屋巳太郎を襲名。60年NHK邦楽技能者育成会4期修了。以降、演奏・作曲両面で活躍、受賞多数。71年第五回劇団音楽部に入部、89年より同代表部長。また、国立劇場養成課講師。



清元栄吉

1963年生まれ。88年東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業し、清元栄三郎師に入門。翌89年6月清元栄吉の名を許され、8月の松竹大歌舞伎公文協公演で初舞台を踏む。以後、歌舞伎、舞踊公演などに出演。90年10月パリ・フランクフルト歌舞伎公演に参加。96年「落のいのち」作曲。98年「こぼろぎ」作曲。



常磐津兼太夫

1963年生まれ、常磐津英寿(四世文字兵衛)の次男。3歳で初舞台を踏む。86年東京芸術大学音楽学部を卒業。同3年、歌舞伎初出演。96年七代目常磐津兼太夫を襲名。98年、(財)清元会奨励賞受賞。古典から洋楽器とのセッションまで幅広く活動。スクアバディビンのインストラクターでもあり、守備範囲は非常に広い。



常磐津文字兵衛

1961年生まれ。4歳で父・常磐津英寿に入門し、77年常磐津兼太夫。95年五代目常磐津文字兵衛襲名。東京芸術大学音楽学部在学中より演奏、作曲が高く評価され、海外公演を行う。古典、現代音楽、ロックと多岐に手掛け、受賞多数。歌舞伎座からサントリーホール、NYカーネギーホールまで幅広く活躍。



福原徹

1961年生まれ。四世寶山左衛門師に師事。83年福原徹の名を許される。84年東京芸術大学音楽学部卒業後、邦楽囃子笛方として活動。清原女子大学、NHK文化センター講師。97年自作品をまとめたCD「徹」を制作。01年リサイタル「徹の笛」で文化庁芸術祭大賞を受賞。



福原百七

1966年生まれ。83年より四世寶山左衛門師、福原由次郎師に笛を師事。91年東京芸術大学音楽学部を卒業後、福原百七の名を許される。以後、演奏会、舞踊会など多数の出演をこなし、現在ももっとも活躍する若手笛方のひとりである。主な作品一素囃子「鳥獣戯画」、よだかの星、など。



松永忠一郎

1969年生まれ。父は松永鉄十郎、兄は松永忠次郎。72年3歳で九世家元松永鉄十郎師に入門。また松永忠五郎師に師事。初舞台を踏む。88年松永鉄十郎の名を許され、国立劇場大劇場における市川團十郎公演「遠獅子」の出囃子三味線方として歌舞伎初舞台を勤める。93年松永一郎と改名。



米川裕枝

幼少より、母・米川敏子に生田流箏曲、地歌三枝を師事。1973年NHK邦楽技能者育成会第18期修了。作曲は兼松明広師に師事。古典・現代邦楽の演奏や作曲など幅広く活動し、95年芸術選奨文部大臣新人賞を始め受賞多数。海外公演も多くオーケストラとも協演。(社)日本三曲協会企画委員など要職も務める。



金子泰

1968年生まれ。東京大学文学部卒業。今藤政太郎門下で長唄を修行し、新作邦楽の作詞活動のほか、新作舞踊台本など舞台作品の執筆も手掛ける父親の作家。歌舞伎舞臺の研究も行う。「創邦21」初の文芸部同人。今回の第2回演奏会では前回は松永、松永一郎との共作曲を発表する。



塩田律

1976年生まれ。幼少より日本舞踊、モダンバレエの手ほどきを受け、上京後、舞台活動に励みながら清元を修行し、97年清元延月流の名を許され演奏家としても活躍中。2002年、東京芸術大学音楽学部卒業。在籍中に「安宅賞」等受賞。現在同大学院に在籍。現代人の琴線に触れる新感覚派の作品創りが信条。



日本橋劇場 (中央区日本橋公会堂4Fホール)
東京都中央区日本橋蛸殻町1-31-1

- 営団地下鉄
半蔵門線「水天宮前」駅6番出口から徒歩2分
日比谷線「人形町」駅A2出口から徒歩5分
- 都営地下鉄
浅草線「人形町」駅A3出口から徒歩7分

※お客様用の駐車場はございませんので、お車でのご来場は、ご遠慮ください。

お問合せ・お申込み 創邦21演奏会事務局 TEL.03-3300-7857
E-mail bamboo.2@ezweb.ne.jp